

次世代リーダー養成塾

大きな刺激 一回り成長

八学光星生徒が報告



次世代リーダー養成塾で学んだことを報告する右から小田嶋さん、立花さん、鈴木さん

八戸

八戸市の八戸学院光星高校(小野崎龍一校長)で16日、本年度の「日本の次世代リーダー養成塾」に参加した同校2年生3人が報告会を開いた。経済、医療、歴史、国際問題、行政など各界を代表する講師陣による講義、全国・アジアの高校生らとの意見交換を通じて学んだことや今後の抱負を語った。

鈴木英莉さんは「他の人のために生きることや考えると、回り回って自分が幸せになる」という講師の言葉が印象に残っていると紹介。立花桜来さんは「リーダーには行動力、判断力、指導力が必要」と気づき、「最後まで諦めずに挑む」とすることで必ず目標達成

や願いがかなう」ことを学んだという。小田嶋莉乙さんは「より良い人間関係を築き上げることの必要性を知り、仲間を一層大切にするようになった」と自身の変化を語った。報告会は同校特別進学コースの1、2年生約40人が聴講した。

日本経団連会長が塾長を務める同養成塾は、志の高い高校生を対象に世界で活躍できる人材育成を目指したサマースクール。例年は合宿形式で行っているが、本年度は新型コロナウイルスの影響でオンライン形式により2020年8月8日から9月22日までの期間に実施。本県の高校生20人を含め、全国から約170人が参加した。

(近藤弘樹)